

全国初!

4疾病ごとの千葉県共用地域医療連携パス 患者情報の共有で一貫した医療を提供!!

がんや脳卒中などの4疾病(※)の患者に対して、良質な医療を提供するため、それぞれの医療機関が患者の情報を共有する「千葉県共用地域医療連携パス」を作成しました。

県と県医師会、関係医療機関などとの協働によるもので、4疾病ごとに全県共用地域医療連携パスを作成したのは全国初となります。

県では、県医師会や医療機関等と協力して、この地域医療連携パス普及を図っています。

※4疾病

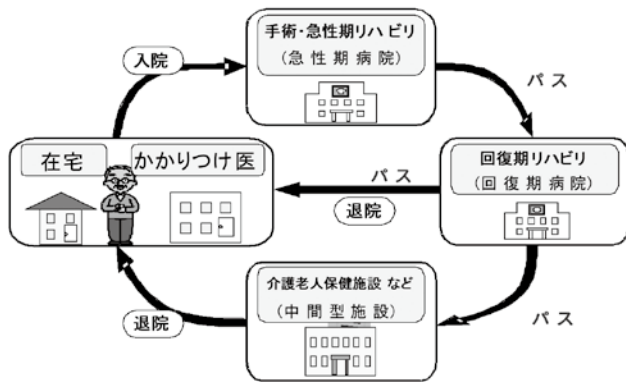
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病です。
日本人の死亡原因の上位を占めています。



【地域医療連携パス】

患者や連携する医療機関が治療計画、治療記録などの情報を共有するため、患者1人ひとりに作成される診療計画表、診療経過表のことをいいます。医療機関同士で使い勝手がよくなるよう、千葉県共通の様式を作成しました。

医療機関の役割分担と地域医療連携パスの活用
(イメージ図)



◆問い合わせ 千葉県健康福祉部健康福祉政策課
☎ 043 - 223 - 2609

【医療地域連携パスを使用するメリット】

- 共用パスを使用することで、連携先の医療機関のどこに行っても急性期病院等で受けていた治療を退院後も切れ目なく、回復期・リハビリ病院やかかりつけ医等の医療機関で、安心して受けることができる
- それぞれの施設の医師の役割分担を明確にし、連携を強化することで患者を中心としたチーム医療が実現でき、医療の向上が図られる

- ① 脳梗塞で倒れた患者が搬送された「急性期病院」で手術など高度で専門的な治療を受ける。医師が治療計画や治療記録などを記載した「地域医療連携パス」を作成
- ② 急性期病院での治療後、リハビリ病院などの「回復期病院」に転院。「地域医療連携パス」の情報を基にリハビリなどを実施
- ③ リハビリ後、「かかりつけ医」への通院や介護老人保健施設等の「中間型施設」へ転院。「地域医療連携パス」の情報により定期的な診断や検査等を実施

医療機関への適切な受診をお願いします!

「夜間のほうがすいている」「昼間は仕事がある」などの理由で、安易に休日や夜間の救急外来を受診する方が増えています。この安易な時間外受診、いわゆる「コンビニ受診」が、病院の重症患者への対応の遅れや、医師などの病院スタッフの疲労につながり、本来の救急医療の機能が果たせなくなる恐れがあります。引き続き地域の医療体制を維持するため、医療機関への適切な受診についてご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせ 千葉県医療整備課 ☎ 043 - 223 - 3886